

公表:令和 8年 3月 2日

事業所名 てくむの森 従業員 7名

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・その日の活動の内容によって、活動するスペースを分けている。
- ・時間を分けて少人数のクラスを設けている。

② 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・人数や特性に合わせて柔軟に職員が配置されている。
- ・日々適切である。

③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備などは、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・掲示物の内容や量に気をつけている。
- ・手洗いの場所に新しく①②③の番号を床にはりつけ、視覚的に順番を分かりやすく掲示するなど工夫している。
- ・ロッカーやドアにより空間が仕切られている等、お子さまにとって視覚的にも分かりやす空間になっている。
- ・指導訓練室はバリアフリーになっていて、利用者様が使いやすい。又、クッションを敷いている場所もあり、安全に考慮している。

④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・毎日の療育後に必ず清掃を行っている。床に誤嚥につながるものなど危険な物がないかチェックしている。
- ・遊びや活動に合わせてゆったりと過ごせるように机や椅子を配置している。

⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・個別の部屋はないが、集団から離れて過ごすことが出来るスペースがある。

⑥ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・毎日療育前の確認の時間、療育後にふり返りの時間を設けている。

⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・評価に基づき会議を行っている。また、定期的な面談も行っている。
- ・評価表だけではなく、面談や日々の送迎の会話の中でも意向を聞き取りつなげている。

⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・ミーティングやふり返りの時間を設けている。
- ・その日にあった出来事や事実を意見交換し、次にその出来事や事実を踏まえた上でどう次回に生かしたら良いのか改善点を話し合っている。
- ・職員間で意見交換しやすい雰囲気であり、日々話している。
- ・療育前のミーティングではふり返りの重点内容をピックアップして再度共有している。

⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい	いいえ
	0	7

<課題や改善すべき点>

- ・第三者による外部評価を検討している。

⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・外部の研修を受けた職員は研修の資料や感想を他の職員と共有しスキルアップにつなげている。
- ・年間で研修スケジュールをたて、研修後は職員間で内容を回覧している。

⑪ 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・職員で意見を出し合いながら、プログラムが固定化されないよう作成している。

⑫ 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援を作成しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・見学や契約の面談時に保護者様からアセスメントを取り、療育中のお子さまの様子と合わせて療育を行っている。
- ・保護者様と面談や、お子様の様子などを通してニーズや課題を話し、作成している。

⑬ 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・保護者様から聞き取った情報や日々の療育中の様子を職員間で共有し、本児にとって良い経験となる過ごしを検討している。

⑭ 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・毎日のミーティングはお子様の支援目標を軸に話し合いや申し送りを行っている。
- ・支援計画の見直しがある度にすべての職員で共有している。また、支援計画は職員がいつでも確認出来るようになっている。

⑮ こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・発達検査の結果や療育センターの支援計画を元に、当事業所の支援計画、他事業所の支援計画を合わせて確認している。
- ・様子や情報を整理するために、ABAを取り入れることがある。
- ・事業所用のアセスメント用紙があり、それに沿って聞き取りを行っている。

⑯ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・個々に合わせて、具体的な支援内容で作成している。
- ・5領域にそった支援計画を作成している。

⑰ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・毎月活動会議を行い、その後、日々の活動内容を全職員で共有し会議をしている。
- ・おさまの取り組みの様子など、日々職員で共有しながら、次の活動に生かせるように話し合いを行っている。

⑱ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・季節の活動や、その時の子どもたちの興味のある物を題材に取り入れている。
- ・子どもたちの状況や特性にも合わせ、適宜活動内容を吟味している。
- ・課題と運動の内容は週ごとに変えられている。

⑲ こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・支援計画の中で、運動やゲームでは集団活動をメインに、机上活動では個別要素も取り入れている。
- ・集団療育の少人数での活動の中で、個別活動のような集中する時間を設けたり、職員と1対1での支援場面等、おさまに合わせた支援計画を作成している。
- ・スケジュールは固定だが、今の子どもたちの状況にどのような活動や環境、過ごし方が合っているのかを日々考えて活動に取り入れている。

⑳ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・毎日必ずミーティングを行い、その日の注意点や目標を確認している。
- ・ミーティング時には子どもたち一人ひとりの変化や様子、対応の仕方について共有している。

㉑ 支援の終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・終了後、必ずミーティングをし、内容を共有し記録している。
- ・その日の出来事、対応、反応など職員間で共有し記録している。
- ・事実を整理し、次にどのような支援を行うか皆で考えている。

㉒ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・記録した内容はファイリングしていつでも職員が確認できるようになっている。
- ・お子さま一人ひとりの変化や様子、気が付いたことや、ミーティング時に話し合いで出たことなど記録を積み重ねている。
- ・記録を徹底し、その記録をもとに、次の支援計画にもつなげている。

⑳ 定期的にモニタリングを行い、指導発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・定期的にモニタリングを行い、方向性や支援計画の見直しを行っている。

㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議にそのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・サービス担当者会議に出席し、他事業所や関係機関とお子様の支援を共有している。

㉒ 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・お子様の送迎時に園の担任の先生から一日の様子をうかがい、支援に繋げている。
- ・必要に応じて幼稚園に出向き、担任の先生と情報共有等を行ったり、保育見学を行っている。

㉓ 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・お子様の送迎時に、利用日ではないお子様の保育や療育以外の様子(園庭での過ごしやイベント練習等)も大事にしている。
- ・毎日の送迎時に幼稚園の先生と子どもたちの様子や体調も含め状況を共有し、保護者様にも伝えている。

㉔ 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	はい	いいえ
	7	0

<課題や改善すべき点>

- ・ご要望に合わせて電話でお伝えしたり、最終モニタリングを作成している。
- ・関係機関会議で小学校の校長先生と情報共有を行っている。

㉕ 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・地域の療育センターの方が見学に来てくださり、療育スペースや環境、基本的な療育の指導をいただいた。
- ・麻生区の地域の事業所連絡会で、助言をいただいたり、相談させていただいている。
- ・地域の療育センターや相談支援事業所と連携し、助言を受けている。

㉖ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・定期的な交流の機会は設けていないが、近隣の幼稚園の園庭や保育園に遊びに行く中で交流の場がある。

㉗ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・療育後のお迎え時やメール、連絡帳などで情報共有している。

・頑張ったこと、出来たことだけではなく、難しいこと、今後支援に結び付けたい事柄もお伝えしている。

③① 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・療育を見学していただき、普段の様子、家庭でのお話を伺い、支援の説明や対応を伝えている。
- ・ペアレントトレーニングのプログラムはないが、面談や相談の際にペ連とトレーニングの視点からアドバイスを行っている。

③② 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・利用契約時に説明し、質問相談があればいつでも対応できるようにしている。

③③ 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・支援計画を作成する前に面談をし、作成後にご家族に確認している。
- ・面談での聞き取りや、療育中の様子を踏まえて作成している。

③④ 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・面談時に内容の説明を行い、同意を得ている。

③⑤ 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・必要に応じて行っている。
- ・面談時以外でもメールお電話、送迎の際にいつでも相談できるようにしている。
- ・必要に応じて、職員間でも内容を共有し、療育中の子どもの様子と照らし合わせながら適切な支援が行えるようにしている。

③⑥ 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・年に1回保護者会を開催している。

③⑦ 子どもや保護者から相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・相談や申し入れがあった場合には、必要に応じてすぐに対応を行い、複数の職員で適切な対応を迅速に検討している。
- ・必要に応じて代表取締役へ伝え、対応を行っている。

③⑧ 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・インスタグラムを通して療育中の子どもたちの様子やてくむの森の雰囲気、主な活動の内容を載せて配信している。
- ・毎月お便りを発行し、活動内容やその日の子どもたちの様子、研修や連絡事項を発信している。

③⑨ 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・全ての従業員が「秘密情報の保持に関する誓約書」を同意し雇用契約を結んでいる。
- ・個人情報事務所内のみで話し、口外することはない。
- ・職務上知りえた事は口外しない様に研修で伝えられている。また、その様にしている。

④① 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・子どもたち一人ひとりの特性に合わせて言葉や伝え方を工夫しながら対応を行っている。
- ・必要に応じ視覚支援も交えながら伝えている。
- ・保護者様に合わせた伝え方を行っている。

④② 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・招待などは出来ていないが、送迎時にすれ違う時などに積極的に挨拶をして交流している。
- ・日々のご挨拶などをはじめ、何か尋ねられた際には丁寧に応じている。
- ・防災訓練時には避難経路や実施日などを記載した報告書を建物入り口付近に掲示し、地域の方々への周知を行った。

④③ 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・定期的に研修と訓練を行っている。
- ・研修や訓練の内容を毎月のお便りにて保護者様に伝えている。

④④ 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・BCPを作成し、1年に1回の見直しを行っている。非常災害時に備え、職員間でも研修を行っている。
- ・子どもたちと長期休みを使って避難訓練を実施している。

④⑤ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・契約時にお子さまの状況を確認し、対応している。
- ・てんかん研修を実施し、発作時の緊急時の対応について職員間で共有し、フローチャートを作成して掲示を行っている。
- ・緊急時の対応において研修を行っている。

④⑥ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・配膳の際にアレルギーのあるお子さまの名前が書かれたお皿で提供している。
- ・アレルギーのあるお子さまに関しては、事前ミーティングでも共有し全員で対応できるようにしている。
- ・おやつやお弁当の際の座席に気を付けている。
- ・アレルギーのあるお子さまに関してはおやつを持参してもらっている。

④⑦ 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分にされた中で支援が行われているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

- ・感染症や熱中症など、適切な時期に研修や訓練を行っている。

・ヒヤリハットの見直しを定期的に行っている。

・近年のヒヤリハットを集計し、どんな場所でどんなヒヤリハットが多いのか見直ししたり研修を定期的実施して事故防止を行った。

④⑦ こどもの安全確保に関して、家族等と連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

・避難訓練の様子をお便りや連絡帳を通して伝え、ご家庭でも振り返ってみて欲しいと伝えている。

・保護者会やお便りにて周知を行っている。

④⑧ ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

・ヒヤリハットをまとめたファイルをいつでも確認できるようになっている。

・どの場所でどのようなヒヤリハットが発生したのかを記録し、職員間で共有した上で再発防止のための話し合いを実施し、再発防止に努めている。

・危険なことがあった時はすぐに報告書を作成し、全員で共有している。

・定期的に見直し、現状に合った対策を話し合っている。

④⑨ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

・虐待に関する研修をすべての職員で行い、適切な対応が出来るようにしている。

・虐待通報・相談のポスターを玄関に掲示し、職員や保護者様が常に見えるようにしている。

・引き取り時にあったお子さまの怪我について、幼稚園の先生や職員間で共有し管理者へ報告している。

⑤⑩ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	はい	いいえ
	7	0

<工夫している点>

・現在そのような事案はないが、研修を行い、職員全員で知識を高めている。